

事業概要【観光デジタル化推進事業】

旧制度（推進）


申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	53,427千円 (20,980千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル導入による観光客受入体制の整備を図る ・北アルプス登山、アウトドアアクティビティ、天蚕等の地域資源の磨き上げを図る ・滞在型観光の推進を図る ・観光DX推進人材の確保、育成を図る 		
事業概要・ 主な経費	<p>○観光プロモーション協議会との連携事業：4,730千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光DX推進のための課題調査 ・観光事業者等へのセミナー等開催費 ・メタバース空間・観光アプリを活用したツアー等開催 <p>○メタバース等による情報発信等基盤整備費：16,250千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メタバースを活用した情報発信事業 ・観光地情報アプリ開発事業 		
KPI	<p>①デジタル関係人口の創出数 (+3,100人)</p> <p>②メタバース空間でのイベント参加者数 (+2,000人)</p> <p>③アプリ参画事業者数 (+40社)</p> <p>④観光DX推進に係るセミナー参加者 (+150人)</p>		<p>関連URL</p> <p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/32/111453.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/6/10455.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【シンガポールにおける安曇野産農産品の輸出/販売強化事業】

旧制度（推進）

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	25,300千円（11,550千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな販路を開拓し、農業に希望をもって新規参入ができる環境を整備する ・海外での安曇野市産農産物のブランディング強化を図る ・輸出販売を強化し農家所得の向上につなげる ・安曇野市産農産物を通して関係人口の拡大を図り、インバウンドにつなげる 		
事業概要・ 主な経費	<p>○東南アジアの中心であるシンガポールにおいて、安曇野産農産品の輸出・販売強化を図り、世界での“AZUMINOブランド”の浸透を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンガポールへの輸出コンサルティングやロジスティクス手配全般 743千円（委託料） ・シンガポールでの物産フェア開催 5,775千円（委託料） ・現地メーカー等向けに安曇野市招聘&インバウンドツアー下見 2,455千円（委託料） ・シンガポールにて安曇野市及び安曇野産品の魅力についてメディア発信 2,577千円（委託料） 		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①安曇野産品の輸出品目（+7品目） ②商談会参加・イベント開催数（+6回） ③海外に向けたPR回数（+25回） 		<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/9/ （効果検証）</p> <p>https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/6/10455.html</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			関連URL

事業概要【リモートワーカーを活用した労働力不足解消支援事業】

旧制度（推進）

申請者	長野県安曇野市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	40,120千円 (14,125千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・育児や介護中等、時間的制約のある方の就労を支援（リモートワーカーとして育成） ・リモートワーカーと地域事業者をマッチングさせ、地域の労働力不足問題を解決 ・都心部企業（主に情報通信業）を誘致し、リモートテレワーカーの受注拡大、若者等の新たな就労先を確保 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	○リモートワーカーの確保育成・企業とのビジネスマッチング支援 ・事務局運営費 5,600千円 ・各種セミナー経費 1,964千円 リモートワークスタートアップ（292千円）、 スキルアップ（858千円）、リーダー育成（693千円）、 リモートワーカー活用（121千円） ・グループワーク交流会 220千円 ・コワーキングスペースの運営 660千円 ・リモートワーク発注コーディネート 770千円 ・ビジネスマッチング 286千円 ・リモートワーカー活用事業補助金 500千円 ○サテライトオフィス誘致業務 ・マッチングイベント出展料 1,375千円 ・東京での企業対応代行 440千円 ・誘致支援ミーティング料 660千円 ・個別企業紹介&フォロー 1,650千円		
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	①地域における新規雇用者数（+110人） ②スキルアップセミナー参加者数（+80人） ③リモートワーカー活用イベント参加事業者数（+15社） ④サテライトオフィス誘致件数（+3件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/9/ （効果検証） https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/6/10455.html

事業概要【『安曇野で働く』を通じた経営支援、ブランド構築、起業・就業支援事業】


申請者	長野県安曇野市				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	25,554千円 (8,058千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>・WebやSNS等を活用したマーケティング・ブランディングの支援等により、経験やスキルを活かした起業等を支援</p> <p>・市内企業の取組を学生等に発信する機会を創出し、企業の人材確保と移住者等の就業面のサポート</p> <p>本事業によって本市へ移住・起業する人や新しい発想で生まれた個店が増えることで街の賑わい創出につながり、魅力的な個店ができることで本市への更なる移住者増が期待でき、起業と移住の両輪で好循環を生んでいく。</p>					
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】【ソフト事業経費】</p> <p>(1)Webマーケティング支援 適切な情報発信媒体の選択、効果的な情報発信等の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Webマーケティング支援（委託料）：2,541千円 <p>(2)『起業×移住』 起業検討中の移住希望者に起業・移住に関する知識習得機会を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地開催セミナー経費（委託料）：708千円 ・オンラインセミナーの実施経費（委託料）：462千円 ・ホームページ作成（保守含む・委託料）：843千円 ・起業に向けた個別指導（伴走型支援）：660千円 ・就業支援：527千円 <p>(3) オープンファクトリー事業 バスで市内企業を訪問し、企業の取組を学生等に発信する機会を創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスによる企業訪問 東京－安曇野間（委託料）：1,319千円 県内主要駅－安曇野間（委託料）：1,598千円 参加者旅費は除く：▲600千円 				<p>Webマーケティング支援事業</p> <p>事業者 (Webマーケティングの課題)</p> <p>↓</p> <p>専門家による支援</p> <p>↓</p> <p>事業者 (Webマーケティングの課題の解決)</p> <p>『起業×移住』支援事業</p> <p>現地セミナー</p> <p>オンラインセミナー</p> <p>↓</p> <p>起業・就業に向けた個別指導</p> <p>オープンファクトリー事業</p> <p>バスによる企業訪問</p> <p>↓</p> <p>事業説明 工場内見学</p>	
地域の多様な主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会：経営支援の相談対応、委託先事業者と連携した伴走型支援、イベントの開催 ・工業会：オープンファクトリー事業の市製造業者（工場）との調整 ・県内大学：同大学に在学する学生を対象にオープンファクトリーへの参加を検討 				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①社会動態（社会増）（+759人） ②Webマーケティング・ブランディング支援事業による企業支援回数（+180回） ③オープンファクトリー参加者数（+240人） ④事業を通じた起業家数（+9者）

事業概要【本陣等々力家再生・活用事業】

申請者	長野県安曇野市				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,102,200千円 (29,700千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野 地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊、レストラン、物販、交流等の機能をもった複合施設を新設し、滞在型観光や体験型観光への転換を通して観光消費額の増加を図るとともに、地場産品の価値向上や地域内調達による雇用の創出をもたらす拠点とする。 ・歴史的文化的財を改装し、高付加価値旅行者やインバウンドへの働きかけを強めることで、新たな客層の開拓と持続可能な観光地の形成を目指す。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】</p> <p>本陣等々力家を、歴史的価値や日本の本物の文化を身近に感じる高付加価値層向けの「宿泊エリア」、自然・伝統・文化を取り入れ地産食材を活用した「レストラン」、地元事業者と連携しマルシェやイベントを開催する「文化・交流エリア」を備えた複合施設に整備する。</p> <p>事業の実施は、本市が主体となり、文化財保存・宿泊施設運営・観光推進等実績を有する民間事業者と連携しながら、地域振興と持続可能な運営モデルの確立を目指す。</p> <p>【拠点整備事業経費】</p> <p>・宿泊施設整備費 29,700千円 (R7費用のみ記載)</p>					
地域の多様な 主体の参画	<ul style="list-style-type: none"> ・信州大学 インキュベーション施設を併設することで、信州大学の学生が研究成果や人的資源を企業等に提供したり、地元企業との共同研究を促進する場とすることで、地域経済の活性化や人材定着を図る。また、学生との連携による地域課題の解決を進める。 ・ARG機構 本施設を水資源に関する研究の場とすることで、研究結果や課題を観光客や市民に発信し、水資源の大切さを知ってもらう機会を創出する。 				<p>KPI</p> <p>(★は必須KPI)</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★①観光消費額 (+50億円) ②観光客の滞在日数 (平均宿泊日数) (+2.6日) ③延べ宿泊者数 (+3,942人) ④年間利用者数 (+7,640人)

事業概要【小海駅周辺地域再生事業】

旧制度（推進）

申請者	長野県南佐久郡小海町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	65,470千円 (23,350千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・小海駅を中心としたコンパクト・プラス・ネットワーク型まちづくり（駅周辺に集積する医療・福祉・教育、公共施設などを活かしつつ、町が取得した駅舎及び隣接した商業施設を活かす） ・駅舎等を活用し、町の入り口、近隣自治体との交通結節点として町内外・多世代、多様な人々の交流の場を創出すると共に、町の観光地である松原湖エリアとのネットワーク化を図り、町内全体の活性化を実現 ・駅を中心として賑わいを生み出し、町内財政の健全化を目指す 		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>R5年度事業にて策定したランドデザインを踏まえ、令和7年度は以下の事業に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ランドデザイン実現に向けた駅周辺エリアの地域拠点整備ソフト事業委託費 <ul style="list-style-type: none"> 調査費用 3,000千円 拠点・周辺エリアの基本設計 3,950千円 拠点・周辺エリアのエリアマネジメントのための法令等調査・要件定義 1,000千円 拠点・周辺エリアの基本設計(障がい者、高齢者等分) 2,000千円 ○中学高校・町内事業者・団体との連携、運営体制の自走準備、コワーキング等開始 <ul style="list-style-type: none"> 事務局運営費（塾・自習室及び交流スペース） 5,500千円 イベント、体験教室など開催費 3,000千円 消耗備品など準備費 1,000千円 ○拠点改修・整備費 拠点改修・整備 <ul style="list-style-type: none"> 内装改修 3,000千円 経済的自立仕組構築費 移動販売車（駅前売店）、カフェ設置費用 900千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ol style="list-style-type: none"> ①小海駅周辺を中心とした町内全域における民間企業との連携イベント実施数（13回） ②学生を中心とした地域交流スペース（塾・自習室、コミュニティカフェ機能）の利用者数（120人） ③小海駅の1日の平均乗降客者数（130人） ④「小海町にずっと住みたい」と思う町民の割合（7%増加） 		<p>関連URL</p> <p>調整中</p>

事業概要【小海町を「まち」として営み存続させる こうみワインプロジェクト事業】

申請者	長野県南佐久郡小海町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	67,408千円 (18,612千円)
経費の種類	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフ 整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	人口減少等の起因による町の存続が危ぶまれるなかワイン用ぶどうという地域資源を磨き上げ、更なる有効活用を図り、複数の産業が結びついたしごとを創生し、地域経済の循環を構築する。取組により、交流人口の増加、人口減少の緩和を図り、活力のある持続可能な町づくりに帰着するもの。					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業展開戦略構築 <ul style="list-style-type: none"> ・事業展開戦略確立推進計画作成委託料2,200千円 ○資源形成の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・品質向上技術指導委託料1,100千円 ・圃場調査委託料5,126千円 ○商品形成の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・品質向上技術指導委託料440千円 ・ブランディング戦略設計、実行委託料1,254千円 ・マーケティング統括戦略設計、SNS、Youtube、web等企画実行委託料6,336千円 ○担い手確保取組 <ul style="list-style-type: none"> ・生産者・加工者誘致施策企画、イベント出展等委託料1,518千円 ・利益モデル試算財務諸表等作成550千円 ○商品製造への取組 <ul style="list-style-type: none"> ・ワイナリー建設準備他地域視察、スキーム設計、必要事項・経費調査委託料88千円 					
地域の多様な 主体の参画	ワイン用ぶどうという地域資源を活用し、複数の産業が結び付いた「しごと」を創生し、地域経済の循環、交流人口の増加を図るために地域内の多様な参画者と連携を図る。ぶどうという農産物としての取組、ワイン製造、販売としての取組、交流人口増加、情報発信としての取組など、各取組に密接に関係する参画者と促進を図る。				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①農産物平均出荷量 (+175ケース) ②総農家数 (+12世帯) ③販路獲得数 (+13件) ④商品原料となるぶどうの収穫 (+3,300kg) ⑤ぶどうの新規生産・加工者数 (+4人)
					※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【地域資源を活かした観光振興】

申請者	長野県南相木村				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	109,240千円 (83,240千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>・近年利用者が増加傾向であるキャンプ場にサニタリー施設を整備し、観光産業を促進し、観光消費額を増加させ本村の基幹産業（農業）以外でも稼げる構造を構築し、持続可能な村政運営を目指す。</p> <p>・村民有志との協働により、地域の特産品を活用した商品開発や自然体験等の提供を充実させ、利用者の消費額の増加と村民の小商につなげる。</p>					
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立原高原キャンプ場PR強化事業 ・PRツール作成、Webサイト改修、動画製作、チラシ作成（委託料）8,000千円 ○特産品開発事業 ・提供メニューの試作、特産品開発支援（委託料）8,000千円 ・地域交流ふれあい館商品開発等に係る備品整備 7,180千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○立原高原キャンプ場展望サイトにサニタリー施設の整備 ・施設整備 60,060千円 				 <p>立原高原キャンプ場展望サイト</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>キャンプ場運営を担う公社にイベント等を開催してもらい、利用者の増加につなげるとともに、毎月行う経営会議の報告書の内容を踏まえた改善点を明確にし、事業内容への反映に取り組む。</p> <p>地域住民と共同で地元農産品を活用した商品開発に取り組み、販路開拓を推進するため、公社等、地域内での連携を促進する。</p>				KPI	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p> <ul style="list-style-type: none"> ①村内の観光消費額（増加分）（+1,400万円） ②立原高原キャンプ場の利用者数（+2,230人） ③立原高原キャンプ場の利用者単価（+950円）

事業概要【千曲川上流域の森づくりと人づくりによる産業×環境×教育の魅力ある地域づくりプロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	長野県佐久穂町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	61,041千円 (23,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野

目的・効果 「森林資源の活用・南佐久郡の林業6次産業化の機能整備」と「千曲川流域・森林フィールドにおける人づくり」による産業化

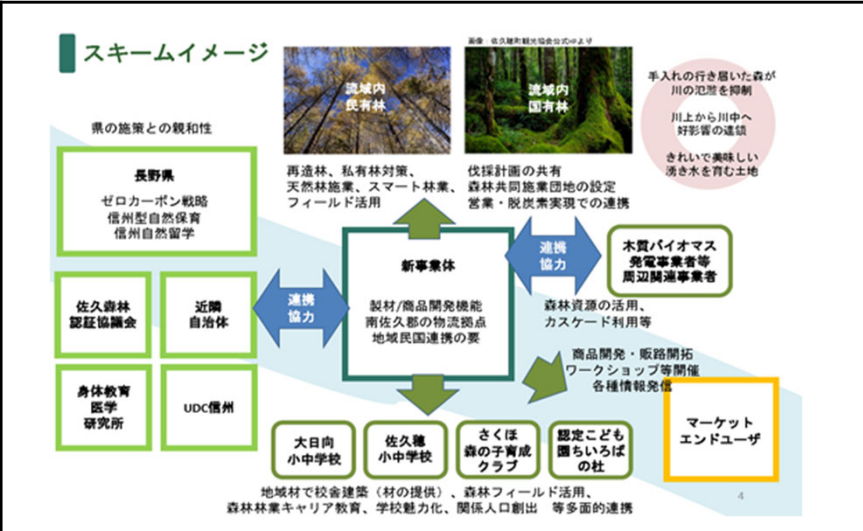
事業概要・主な経費

※経費内訳はR7年度事業費

【事業概要】
町の資源である豊かな森を活かし、更なる魅力ある地域を目指すため、「森林資源の活用・南佐久郡の林業6次産業化の機能整備」と「千曲川上流域・森林フィールドにおける人づくり」による産業化を推進するとともに、地域資産価値を高める多角的な事業展開を行う地域商社の設立を目指す。

【主な経費】

- ①地域商社設立準備業務（委託料） 9,500千円
- ②商品開発・販路開拓業務（委託料） 6,000千円
- ③森づくり×人づくりの取り組み検討業務（委託料） 7,000千円
- ④地域間協議会 発足・運営業務（委託料） 900千円



KPI

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

- ①本交付金事業実施に伴う林業関係事業への新規就業者数（副業を含む） (+2人)
- ②本交付金事業実施に伴う町産木材の町内での使用量 (+15m³)
- ③地域の森林資源を利用した新たな教育カリキュラムやイベント等へ複数回参加した人の人数 (+100人)
- ④再造林面積 (+15ha)

関連URL


調整中

事業概要【駅周辺にぎわい広場整備事業】

申請者	長野県御代田町				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	355,398千円 (17,000千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野 生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地元飲食店や地元企業の活性化のため、にぎわい創出広場を整備することにより、地元飲食店や地元企業のPRと日常的なイベントや季節ごとのイベントに出店できるようにする。 ・駅周辺にイベントが開催できる場所、集える場所を望む機運が高まる中、にぎわい創出広場を整備することにより、地元飲食店や地元企業だけでなく、町民ニーズも満たす。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 町の飲食店が集中し、鉄道、バス、タクシーの公共交通が集約している町の中心部である駅周辺にイベント開催ができる「にぎわい創出広場」の整備を行う。四季折々、継続的にイベントを実施することにより、町内飲食店や町内企業の活性化とPRを図っていく。また、イベントを通して関係人口の創出と将来的な社会増につなげていく。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ・拠点整備実施地の実施設計業務 17,000千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	町内民間事業者と商工会、学生（小学生から高校生）を中心にイベントの企画、提案、PRをする。町内ケーブルテレビは、イベント等の事業に関する情報提供やPRをしてもらい、自治会は域住民の意見の吸い上げ、情報提供をしてもらう。各参画者の全体サポートと進行状況を町が行う。				KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①人口の社会増 (+810人) ②イベント開催数 (36回) ③イベント来場者数 (9,080人)

事業概要【官民連携による空き家開拓と移住者マッチング事業】

旧制度（推進）

申請者	長野県下諏訪町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	20,873千円 (5,296千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	<p>当町には多くの空き家や空き店舗があるにも関わらず、多くの物件が流通できていない状況のため、せっかく相談に来てくれた移住相談者を受け入れることができないという大きな機会損失が起きている。</p> <p>本事業により、民間事業者や地域住民と連携し、滞っていた空き家物件の利活用を進め、移住者の受け皿を増やすことで、移住を検討している方が夢をもって移り住むことができるまちを目指す。</p>		
事業概要・ 主な経費	<p>①地域住民を巻き込んだ空き家情報収集のネットワーク構築</p> <p>②移住相談窓口の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住促進支援業務 4,796千円 <p>③空き家情報発信のプラットフォームの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住総合サイト制作業務 500千円 		
KPI	<p>①町が紹介した空き家に移住者が居住した件数 (+27件)</p> <p>②空き家物件の掘り起こしを行い、下諏訪町空き家情報バンクに登録した物件数 (+55件)</p> <p>③町が紹介した空き家物件を活用した開業件数 (+8件)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/contents/1753676090265/index.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/genre/1000100000073/index.html</p>

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値



事業概要【「縄文から未来へ」歴史に知恵を学ぶ観光拠点整備事業】

申請者	長野県富士見町				初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R11年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	963,156千円 (14,036千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	地方経済の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 日本を代表する縄文遺産を保存・展示する井戸尻考古館を新築し、歴史・文化的遺産と、豊かな自然景観という資源を活かした観光コンテンツの充実により、町内の2大リゾートに続く集客スポットとして、町内主要観光施設の来場者数を増加させるとともに、経済波及効果をもたらす観光拠点とする。 自然の中で縄文人が生き抜いた知恵を学ぶ施設は、歴史や文化体験を目的とする観光客の集客につながる。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 井戸尻考古館を、来館者や時代のニーズに合わせた新しい施設として新築する。周辺の遺跡や自然環境とともに、縄文遺産を活用し、町内に経済波及効果をもたらす観光拠点として整備する。</p> <p>【ソフト事業経費】 観光客を地元の協力で受け入れる「縄文の食を体感するツアー」を開催、集客につなげる。</p> <p>【拠点整備事業経費】 新井戸尻考古館の基本設計を行う ・基本設計業務委託 14,036千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>商工会内に「ふじみ縄文推進委員会」を設置し、地元の県立高校と連携してイベントに用いる農産物を生産し、縄文のまちづくり事業を推進する。井戸尻応援団や地元区から遺跡講演や周辺環境の保全に関する意見をもらい、協力して作業を行う。また応援団や地元放送局と情報発信の方法とターゲットを検討し、発信力を強化する。</p>				<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★①地域における観光消費額(+1853万円) ②町内観光客来場者数(+10万人) ③新施設入館者数(+12,000人) ④新施設入館料収入(+3,600,000円) ⑤施設を利用する団体数(+7団体) 	

事業概要【女性のテレワーク就業支援事業】

申請者	長野県辰野町				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	12,000千円 (4,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 生活環境の創生
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワークに興味を持ち、実際にテレワークで仕事をしてみたいと考える女性を対象にしたスキルアップセミナーを実施。 ・在宅でオンラインによる仕事ができるようにするため、就業までの一連のプロセスを体験することで就業率のアップを目指す。また、就労希望者に向けたキャリアコンサルティングや就職マッチングサービスも提供。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 スキルアップセミナーを実施し、在宅ワークに取り組むための必要なデジタルスキルを取得することに加え、実践的なロールプレイング等の内容を実施。就業までの一連のプロセス（仕事を選ぶ、契約を締結する）を体験。また、就労希望者に向けたキャリアコンサルティングや就職マッチングサービスも提供する。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー、キャリアコンサルティング、就業支援（委託料）：3,600千円 ・セミナー参加者募集広報（印刷製本費）：400千円 				<p>The diagram illustrates the process flow: 'Seminar Lecture' (top left) and 'Career Counseling' (bottom left) are combined (indicated by a plus sign) and lead to 'Remote Work Employment' (right). The 'Remote Work Employment' is depicted with an illustration of a woman working from home, connected to a virtual office environment.</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>テレワーク推進事業者はセミナー開催、就職に向けたアドバイス・支援を行う。</p> <p>地元新聞社には、セミナー参加者募集記事に加え、実際のセミナーの様子を記事にしてもらうことで、町民の柔軟な働き方の理解度アップを図る。</p> <p>セミナー受講者（町民）からの参加者目線でのセミナー内容等に関する意見について、事業内容への反映に取り組む。</p>				KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ★①女性（15歳～64歳）の社会減少数（-6） ②セミナー参加数（+45名） ③セミナー受講者満足度（+75%以上） ④受講生の就労者数（+5名） ⑤キャリアコンサルティングを受けた人数（+8名）

事業概要【グリーン・セーフティ・オアシス大芝高原プロジェクト～緑豊かで安全な憩いの場を創出する取り組み～】

申請者	長野県南箕輪村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,246,431千円 (108,200千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓	事業分野 観光分野
目的・効果	<p>公園内のユニバーサルフィールド化、インフラ改修、ふれあい交流センターの施設整備を一体的に行うことにより、大芝高原のブランドを向上し、利用者、観光消費額を増やすことで、今後、大芝高原が持続可能で上伊那地域を代表する観光拠点として発展していくことを目指す。</p> <p>また、広域の防災拠点として、施設の機能が最大限活用できるよう周辺エリアの避難所も含めた水道管路の耐震化を行うことで、有事の際に、防災・減災に対応できる拠点としての機能を維持できるようにしていく。</p>						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルフィールド化に関する事業 ・コンシェルジュ窓口、マップ作製に係る経費（委託料）：5,000千円 ・備品の購入に係る経費（備品購入費）：2,000千円 ○地域資源を生かした新たな観光資源に関する事業 ・新商品開発費（委託料）：2,000千円 ・PR動画制作およびSNS運用費（委託料）：5,200千円 <p>【インフラ整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルツーリズムに必要な公園内トイレ改修及び老朽化したアスレチック・遊具の更新 ・事業費 14,000千円 ○広域防災拠点の機能維持に必要な水道管路の耐震化 ・事業費 80,000千円 					 	
※経費内訳はR7年度事業費							
地域の多様な 主体の参画	<p>上伊那農業高等学校と共同で地元農産物等を活用した商品開発に取り組み、販路開拓を推進するため、商工会議所等、地域内での連携を促進する。</p> <p>当該施設の指定管理者と南箕輪村観光協会と連携し、利用者の増加や地域住民、関係人口との関係構築に繋げるイベントを開催してもらう。また住民代表（むらづくり委員会）と連携し、利用者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI	<p>①大芝高原の観光消費額（+1.03億円）</p> <p>②大芝高原の利用者数（+205千人）</p> <p>③管路耐震化率（+12.8%）</p> <p>④「ふるさと名物」商品化件数（+8件）</p>
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【駒ヶ岳の麓、宮田宿を核としたまちの賑わい創出プロジェクト】

申請者	長野県宮田村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	20,880千円 (9,910千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光振興分野
目的・効果	宮田村に埋もれた自然・歴史・文化資源を「保存」から「活用」へと転換し、宮田村ブランドを確立・発信することにより、観光・交流を促進（観光消費額の増加）するとともに、地域のにぎわい（宮田宿を核としたイベント等の参加者数増加など）を創出する。						
事業概要・ 主な経費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○周遊コースの設定及び整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・外部専門家の報償費 340千円 ・外部専門家の旅費 200千円 ・文化財案内看板等の設置工事費 3,800千円 ・史跡公園等へのロボット草刈機導入 1,280千円 ○幅広く魅力的な宮田宿周辺のプロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント事業委託費 1,700千円 ・調査報告書印刷製本費 2,310千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>						
地域の多様な 主体の参画	魅力的な周遊コースの造成、文化財を活用した新たな特産品の開発、デジタルコンテンツの拡充等により、商工会等と連携しながら交流人口や収益の増加に繋げるとともに、住民団体が開催する各種イベントに大学や地元中・高生も参加してもらい、若者目線での意見を吸い上げ、事業内容への反映に取り組む。					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①宮田村観光消費額 (+2,380万円) ②デジタル化した文化財データコンテンツの閲覧者数 (+1,000人) ③宮田宿を核としたイベントの参加者数 (+600人)
						※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	

事業概要【リニア時代を見据えた商店街を中心とする地方創生事業】

旧制度（推進）

申請者	長野県松川町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	44,240千円 (11,760千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街を交流人口の拠点及び地域住民の活躍の場滞在の場の拠点としてリノベーション ・新しいひとの流れ”と”しごと”を生み出し、新たな町の賑わいを創出 ・観光交流人口の増を基点とした都市部からのお金の流入と、地域でお金がまわる仕組みを構築 ・交流人口を町全体へ誘客できる仕組みづくり 		
事業概要・ 主な経費	<p>商店街を取り巻く組織と法人が担う役割のイメージ</p> <p>○新井商店街への企業誘致事業（委託料）550千円 ○新たな販促検討事業（委託料）550千円 ○学生視点による新井商店街のリノベーション事業 ・中高生の地域デザイン（委託料）2,520千円 ・プロジェクト参加型インターン（委託料）4,400千円 ○外部人材を活用した交流人口増のためのコンテンツ開発（委託料）2,640千円 ○Lineを活用した商店街の販促情報発信システム運営（委託料）1,100千円</p>		
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①新井商店街事業所数（+3件） ②新井商店街空き店舗数（▲3件） ③JR伊那大島駅利用者数（+50人） ④観光消費額（+15,000千円） 	関連URL	https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要【アフターコロナ及びリニア開通後の観光交流と若者の移住定住人口増を促進させることを目的とした地方創生事業】

申請者	長野県松川町	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	194,167千円（25,800千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	観光で誘客しながら当町を知ってもらい、ワカモノの移住定住へ結びつける ・リニア開通後の地域回帰や2地域居住の地に当町が選ばれるような取組を行う ・移住定住を考えている相談者の受入体制を整備（移住希望者と自治体のマッチング体制） ・移住定住者の増による人口減少時代に打ち勝つ地方創生の実現を目指す		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	○旧松川青年の家エリアを活用した自然体験企画造成及び運営（委託料）7,700千円 ○町観光施設のバーチャルツアーを活用したPR事業（委託料）500千円 ○ガストロノミーツーリズム企画造成（委託料）7,500千円 ○外部人材活用促進インターンシップ事業（委託料）1,800千円 ○移住定住促進事業（委託料）5,000千円 ○Orchardキッチンカー整備事業（補助金）3,300千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①社会増減数（+12人） ②移住体験住宅利用者数（+11人） ③町内観光宿泊者施設宿泊者数（+210人泊） ④来訪者満足度調査における再来訪意向率（+12.0%）		関連URL https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html

事業概要【リニアで繋がる地域と都市部のヒト・コト・モノ交流計画】

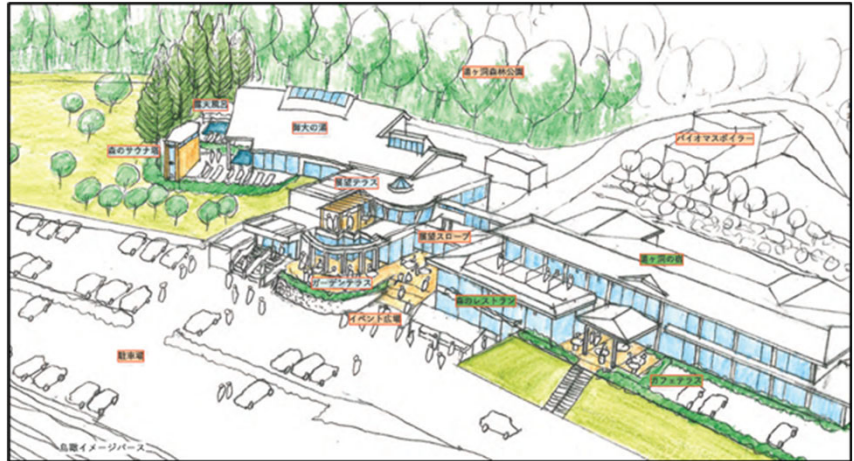
旧制度（推進）

申請者	長野県松川町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	35,200千円 (11,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 新規販路開拓による農業就業人口の増加 新規メニュー開発による地元PR効果からくる誘客の促進 都市間交流コミュニティ創出によるヒトの繋がりが生み出す新しい関係性の構築 農業・都市間交流分野による関係人口増加による移住定住者の獲得 		
事業概要・ 主な経費	<p>○地元農産物を活用した都市部のトップシェフとの連携事業 (委託料、広告経費、パッケージ開発経費等) 6,600千円</p> <p>○リニア駅で繋がる都市間交流事業 (委託料) 4,400千円</p>		<p>(商品の開発/販売にとどまらない観光地としてのブランド化)</p> <p>松川町 Matsukawa Town</p> <p>都内トップシェフ</p> <p>トップシェフを用いた ディステーション マーケティング の推進</p> <p>ブランド商品/体験の提供</p> <p>レシピ/商品開発/販売</p> <p>「都市と地方の関係」</p> <p>都市 地方</p> <p>人・モノ・金・アイデア 利用価値や機能でつながる関係</p> <p>都市 地方</p> <p>愛、思い、情熱 その地に暮らす人々への関心や共感でつながる関係</p>
KPI	<p>①地域における農林水産就労者数 (+120人)</p> <p>②社会増減数 (+7人)</p> <p>③ふるさと納税寄付件数 (+1,500件)</p> <p>④地域の人口数 (▲589人)</p>		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.matsukawa.lg.jp/soshikikarasagasu/machizukuri/seisakuka/kikakutyouseikakari/4/9699.html</p>
※経費内訳はR7年度事業費	<p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>		

事業概要【松川町の地域資源を活用した都市部からの誘客事業】

申請者	長野県松川町				初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	180,480千円 (180,480千円)	
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	これまでの観光地域づくりで構築した関係人口の芽をオートキャンプサイトの整備事業を通じ、より魅力ある観光スポットとすることで現交流人口の定着および、拡大させる拠点づくりを行うことで、地域みらい共創プランに掲げる、人口減少時代に打ち勝つ地方創生を目指す。						
<p>事業概要・ 主な経費</p> <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>	<p>【事業概要】 松川町に滞在してもらいながら自然を体験と観光をする、自然体験×滞在型観光を行えるコンテンツとして、町の西側、西山地区にある旧松川青年の家グラウンドを、オートキャンプ場として整備する。</p> <p>当整備事業完了後、キャンピングカーでのイベントのみならず、毎年実施されている若武者マルシェという若手農業経営者が主催する農産物の直売（集客約300名）や、およりの森祭り（集客約400名）での、町産材をつかった木工体験、木工品の物販、地元食材を使ったキッチンカー等が来るイベントや、自然を使ったアトラクション（森林セラピー、星空観測）などの既存事業等とのシナジー効果により観光消費額に結び付くPRも実施していく。</p> <p>【拠点整備事業経費】 ○施設整備 180,480千円</p>						
地域の多様な 主体の参画	<p>産) 当該施設の管理運営を行う。運営にあたっては利用者の増加や地域住民の関係性構築につながるイベント等を開催してもらう。</p> <p>官) 各事業の全体調整を行う。</p> <p>住民) 利用者目線での施設等の利活用に関する意見について、事業内容への反映に取り組む。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<p>①地域における観光消費額 (+18,560千円)</p> <p>②キャンプ利用者数 (+1,856人)</p> <p>③来訪者満足度調査における再来訪意向率 (+30%)</p> <p>④社会増減数 (+17人)</p> <p>⑤地域幸福度 (Well-Being) 指標による主観指標「私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある」の偏差値 (+20ポイント)</p>	

事業概要【信州たかもり温泉改修事業】

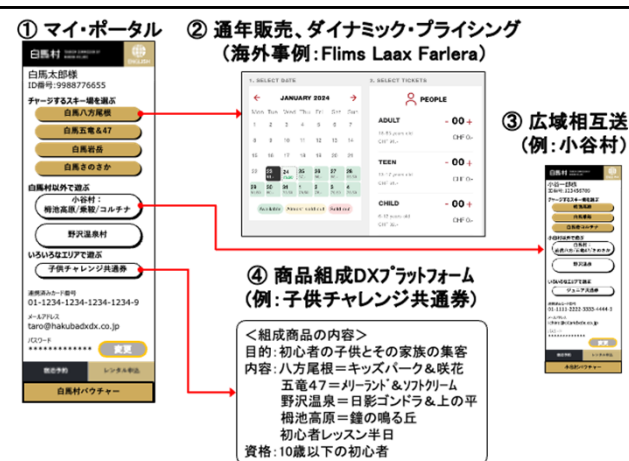
申請者	長野県高森町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,695,305千円 (795,149千円)
経費の種類	ソフト 事業		拠点整 備事業	✓	インフ 整備事業	事業分野 観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 信州たかもり温泉「湯ヶ洞」、「御大の館」をリニューアルし、新たな観光の拠点として整備することで、観光消費額の増加を図る。 観光客と地元住民の交流を促す拠点とすることで、より一層の観光体験の提供と観光産業の発展、地域活性化を目指す。 					
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】 信州たかもり温泉「湯ヶ洞」「御大の館」改修工事</p> <ol style="list-style-type: none"> 施設全体改修工事 サウナ新設工事（男女各定員約15名） 大浴場改修工事（バリエーション増） レストラン新設工事（定員約110名） 客室改修工事（室数・定員増） 渡り廊下新設工事（館内移動の充実） 駐車場造成工事（増台） 外構工事（デッキテラス等） <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○改修工事実施設計・監理業務 73,043千円 ○建築主体工事 315,744千円 ○設備工事 406,362千円 <p>※経費内訳はR7年度事業費</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>【指定管理者】施設の管理運営、利用者の増加や観光客と地元住民との交流が生まれるイベント等を開催</p> <p>【高森町・観光協会】観光客の受け入れ体制を整え全体調整を行う</p> <p>【金融機関】観光客の受け入れに必要な事業に対し、金融分野でサポート</p> <p>【地域おこし協力隊】独自の視点で地域PRや観光客増への活動を実施</p> <p>【自治会】地元利用者の意見吸い上げ、情報提供</p>				KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①南信州地域の観光地消費額（+9,000千円） ②信州たかもり温泉宿泊者数（+1500人） ③信州たかもり温泉来館者数（+35,000人） <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>

事業概要【学びや挑戦機会の充実による選ばれる村づくり_喬木村共創拠点整備事業】

申請者	長野県喬木村				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	403,754千円 (355,754千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	ICT教育等本村の持つ魅力ある子育て・教育環境をベースに、子どもだけでなく大人までが“学び”、“つながり”、“挑戦する”人づくりを核とした村づくりを実現する。子育て、教育環境の魅力に加えて、地域固有の産業や自然資源を掛け合わせることで、本村で子育てしたい、関わりたいと思う人を呼び込み、持続的な人の流れを生み出すことで、総合計画に掲げる将来像“人が輝き 未来につながる 美し郷 喬木”を実現する。					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 関係移住人口創出を主目的として、中原地域に学びと挑戦をテーマとした滞在機能及びシェアスペースを有する複合施設を整備する。</p> <p>【ソフト事業経費】 共創施設及び関係移住人口創出にかかる情報発信PR基盤整備と、施設活用にかかる村民ワークショップの企画運営を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド構築にかかる企画設計 5,082千円 ・情報発信PRにかかる基盤整備 13,794千円 ・施設活用にかかる企画運営 4,840千円 <p>【拠点整備事業経費】 喬木村共創施設を整備。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備 332,038千円 					
地域の多様な 主体の参画	<p>村内保育園、小中学校は、地域の子育て・挑戦機会のプログラム作成に対する意見の吸い上げ、情報提供を行う。</p> <p>共創施設の指定管理者は、エリア価値を活かした子育て、教育プログラムの開催や関係・移住人口創出を促すお試し移住ツアーなどを開発～運用する中で、地域住民も含めた地域資源、フィールドの魅力を体感してもらう機会を創出する。</p>				<p>KPI</p> <p>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 喬木村への転入者数 (+50人) ② 共創拠点の年間利用者数 (+780人) ③ 村内10～30代の定住意向率 (+10.5%) ④ 共創拠点を活用したプログラム開催数 (+15数) ⑤ 運営、体験プログラム担い手確保 (+3人)

事業概要【DXによる地域観光業の持続可能性向上事業】

旧制度（推進）

申請者	長野県白馬村ほか2自治体※	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	142,000千円 (50,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済の中核である観光業において、最大の収入源であるリフト券の販売が天候の影響を強く受ける課題を克服する ・大規模CRMが可能なグローバル競争に対抗するため、DMOを中心とした地域一体でのCRM、マーケティングを実現する ・インバウンド拡大のために、自治体、事業者が広域連携できる、相互送客の仕組みを構築する ・広域連携により観光コンテンツの多様化を実現する、商品組成のためのDXプラットフォームを構築する 		
事業概要・ 主な経費	<p>①「マイポータル」へのバウチャー発行機能追加、前年の運用を踏まえての改善：10,000千円</p> <p>②地域通貨とマイポータルを連携する“ウォレット機能”の実装：28,000千円</p> <p>③山岳リゾートDX協議会(MRDC)の運営、参画者追加：5,000千円</p> <p>④リフト券ICカードの自動販売機設置：7,000千円</p>	 <p>① マイポータル</p> <p>② 通年販売、ダイナミックプライシング (海外事例: Flims Laax Farlera)</p> <p>③ 広域相互送客 (例: 小谷村)</p> <p>④ 商品組成DXプラットフォーム (例: 子供チャレンジ共通券)</p> <p><組成商品の内容> 目的: 初心者の子供とその家族の集客 内容: 八方尾根=キッズパーク&映花 五竜47=リフト&ソリクリーム 野沢温泉=日影ゴンドラ&上の平 榑池高原=鐘の鳴る丘 初心者レッスン半日 資格: 10歳以下の初心者</p>	
KPI	<p>①観光消費額：+12億円</p> <p>②マイポータル登録者数：+10万人</p> <p>③連携自治体数：+10市町村</p> <p>④マイポータル経由でのふるさと納税寄付額：+16億円</p>	関連URL	<p>現行のDMO予約ポータル https://www.booking.vill.hakuba.nagano.jp/</p> <p>独自に進めている事業のプレスリリース https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000040.000060409.html</p>

※長野県白馬村、野沢温泉村、小谷村の広域連携事業

事業概要【仮想空間を利用した関係人口増を軸とした地方創生事業】

申請者	長野県松川町				初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	10,000千円 (3,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 人や企業の地方分散
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> • NFT（非代替性トークン）を活用した「デジタル住民制度」を導入し、町外の人々との継続的な関わりを生み出すことで新たな関係人口を創出及び拡大する。 • NFTを活用したデジタル住民制度により、町外の人々との継続的な関係を構築し、課題である基幹産業の担い手不足解消、自治会等の地域活動への参画を実現し、持続可能な地域を目指す。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 NFTを発行・販売し、購入者を「デジタル住民」として位置づけ、町民とふれあう等の特別な限定イベント参加権や特産物のリターンなどのメリットを提供することで町外及び国外の人々と継続的な関係を構築する。 また、NFTをきっかけとしたコミュニティ活動への参画や情報発信を通じて、関係人口拡大や若者・クリエイターなどとの連携を促進し、将来的なUIターンによる移住定住を促すような事業を展開する。</p> <p>【ソフト事業経費】 地元関係者との調整やコミュニティ運営、商品開発及び町政70周年記念発売イベントの企画立案。 ○コンセプト立案、コミュニティ運営、特典設計、アートワークデザイン、ブランディング、販売ページ作成、全体企画運営（委託料）3,500千円</p>					
地域の多様な 主体の参画	<p>一般社団法人が中心となり、関係人口の創出や移住・定住促進を目的としたイベントや情報発信を実施する。 地元中学生などの若者の意見を取り入れつつ、DMOと連携したNFT開発や地域FMを活用した広報を行い、既存関係人口との連携による交流コミュニティの運営にも取り組む。</p>				<p>KPI (★は必須KPI) ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★①関係人口の人数（+500人） ②ふるさと納税寄付件数（+13,000件） ③デジタル住民の数（+650人） ④デジタル住民からリアル来訪人数（+1,300人（延べ）） ⑤デジタル住民のコミュニティ参加人数（+150人（延べ）） ⑥NFT販売額（+4,800千円）

事業概要【リニア駅でつながる都市間交流拠点整備事業】

申請者	長野県松川町				初回採択回	令和7年度第2回募集	
事業計画期間	R7-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	163,743千円 (14,259千円)	
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	人や企業の地方分散
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 松川町と都市部（品川など）との交流を通じて関係人口を創出・深化させ、「おためし」の次のステップへの仕組みと活動及び拠点整備により、2拠点居住・活動や移住、定住を段階的に促進し、地域の担い手不足や人口減少といった構造的課題の解決につなげる。 都市住民が松川町での暮らしや活動を中期的に行える環境が整うことで、地域への関心や関わりが深まり、最終的には移住、定住や地域の担い手増加へと結びつくことで、地域住民と都市住民の交流が活性化し、地域コミュニティの多様性と活力が高まり、持続可能な地域社会の実現と「住み続けたい」と思えるまちづくりが推進される。 						
事業概要・主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【事業概要】 リニア中央新幹線開業による都市間アクセスの向上を追い風に、旧国交省官舎（空き家）をリノベーションし、「交流・居住・活動」の機能を持つ多機能・多世代型の地域構想拠点の整備。また、段階的な地域参画の機会を創出し、関係人口の拡大と地域の担い手の確保・定住促進を図る。</p> <p>【ソフト事業経費】 ○ワークショップ開催（4回）、企画・設計・運営に係る業務 2,000千円</p> <p>【拠点整備事業経費】 拠点整備工事の基本設計及び実施設計や拠点運営の企画策定をする。 ○建物耐震診断、実測・図面作成（既存建物）、基本設計・実勢設計・外構工事 12,259千円</p>						
地域の多様な主体の参画	一般社団法人（町の都市間交流事業及び移住・定住施策の受託者）による運営・企画ワークショップの開催、拠点完成後の運営、さらに地域FMを活用した情報発信を行う。また、既存の関係人口（品川宿、南信州クリエイティブコミュニティ等）及び拠点周辺地域住民による、地域の将来ビジョン策定や地域が求める人材確保、拠点の運営方針づくりへの主体的参画。				KPI （★は必須KPI） ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	★①社会増減数（-153人） ②移住促進住宅利用者数（+15人） ③ウェルビーイング指標のアンケート割合（+1ポイント） ④共有スペース利用回数（+768件） ⑤ウェルビーイング指標のアンケート割合（+1ポイント） ⑥ウェルビーイング指標のアンケート割合（+75ポイント）	

事業概要【多様な人々の交流と地域経済の好循環による持続可能な地域づくり事業】


申請者	長野県白馬村、小谷村				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	1,423,800千円 (151,800千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 地方への人の流れ分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンコミュニティを創設し、関係人口を創出して地域課題の解決を図りながら定住人口の増加につなげる。 ・デジタル地域通貨や産業連関表を活用し、事業者と協力して地域内経済循環の向上を図るとともに、観光産業による「稼ぐ力」と住民の「暮らしやすさ」を両立して人口流出を防ぎ、地方への人の流れを生み出す。 ・新たな産業創出を目的に地域公社を設立し、通年で安定した雇用を創出して若者の定住を促進する。 ・子育て支援と交流の拠点となる施設を整備し、若者・女性に選ばれる地域を実現する。 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係人口の創出・拡大と交流による地域課題解決事業 ・ファンコミュニティ創設・マッチングシステム構築（委託料）9,000千円 ・まちづくりポータルサイト制作費（委託料）1,000千円 ・交流イベント開催費（会場使用料等）800千円 ○新たな産業創出と地域内経済循環向上事業 ・地域公社設立に向けた調査（委託料）10,000千円 ・デジタル地域通貨導入（委託料）18,000千円 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援・交流拠点整備事業 ・実施設計・既存施設除却 113,000千円 				 <p>子育て支援・交流拠点施設整備予定地</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>先駆的DMOに選定されている一般社団法人白馬村観光局、白馬商工会、白馬村振興公社、小谷村等と連携し、域内事業者の協力を得ながら事業を推進するとともに、白馬高校、地域金融機関、ケーブルテレビ、地域の非営利団体や自治組織など全村的な取り組みとする。</p> <p>各関係者は事業の推進だけでなく評価・検証等にも参画し、情報発信や意見聴取を丁寧に行い事業の改善に努める。</p>				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①20代～40代の社会増（転入者数）（+150人） ②ファンコミュニティ登録者数（+2500人） ③地域課題解決に資する事業への参加者数（+250人） ④デジタル地域通貨利用者数（+1,500人） ⑤地域公社の職員雇用者数（+22人）

事業概要【地域資源アップサイクルプロジェクト】

申請者	長野県山ノ内町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	81,200千円 (25,200千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 未利用資源や廃材の利用による産業、魅力発信、関係人口アップ 脱炭素、SDGsをテーマとした資源アップサイクルによるシティフレグランス開発 地域商社設立による地域経済の活性化 						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【事業概要】 町内の未利用森林資源からアップサイクルにより町を象徴する香り（シティフレグランス）を創出し、町内外に対し町の魅力を発信する。商品造成と併せてプロモーション戦略を構築する地域商社を設立し、地域のブランド力強化を促進することで、稼ぐ力を身につけ、自走して若者・外国人に選ばれるまちづくりを行う。</p> <p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源アップサイクルをテーマとする商品造成（委託料3,420千円） 未利用の森林資源（杉の枝葉）から精油の蒸留 杉精油を用いたシティフレグランスの創出 開発商品のブランディング作業と地域ブランディングのための地域商社の設立準備（委託料21,780千円） 造成した商品のブランディング・プロモーション戦略策定 観光産業における廃油活用商品の開発検討 地域商社の設立に向けた準備、支援 					<p style="text-align: center;">地域商社の設立</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>商品造成</p> <p>地域資源を活用した商品造成で 稼ぐ力の強化・ 商品造成を通じた関係人口の増加</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>プロモーション</p> <p>商品ストーリーPRによる 町の認知度向上・ 観光入り込み客数の増加</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">【地域ブランド力の強化】 -ストーリーによるシビックプライド向上-</p> <p style="text-align: center;">▼</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>若者・外国人に 選ばれる まちづくり</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>稼げる まちづくり</p> </div> <div style="border: 1px solid orange; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;"> <p>将来的な 定住人口の増加</p> </div> </div>	
地域の多様な 主体の参画	<p>包括連携協定を締結した企業及び森林組合を中心に、未利用資源アップサイクルによる新しい商品を開発・販売し、町の魅力発信を行う。 また、地元高校や植物専門家とワークショップを開催し、香りと環境保全を有機的に結び付けるとともに脱炭素・SDGsに係るひとづくりを進める。 さらに、商工会や金融機関と連携し、地域商社設立に向けた人材育成のもと、地域産業の創出と活性化を図る。</p>					KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①社会増減の維持（+165人） ②外国人宿泊者数（長野県調査）増（+60千人） ③関係人口（ふるさと納税件数）増（+2千件） ④商品取扱店舗数（+80施設） ⑤公式SNSのフォロワー数（+8千人） ⑥再造林を目的とした主伐面積（+9ヘクタール）

事業概要【持続可能な地域づくりに向けた多様な雇用機会創出と関係人口拡大事業】

旧制度（推進）

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	31,914千円 (12,944千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	地域の季節的な雇用の不安定さと人口減少の課題に対応するため、安定した雇用環境の整備とシティプロモーションによるシビックプライド向上から関係人口の創出に取り組む。季節依存の産業からの脱却と関係人口拡大を通じて地域の持続可能な発展を促進することで、地域住民の地域愛を高め、町外からの移住者の増加を目指すもの。		
事業概要・ 主な経費	<p>【事業概要】</p> <p>シティプロモーションと関係人口の拡大を目的に、専用サイトや映像で町の魅力を発信し、信濃町ファンクラブの本格運用により町外との継続的な関係を築きます。</p> <p>【主な経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○シビックプライド向上に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーションサイトの構築(委託料) 5,500千円 ・シティプロモーション映像制作・発信(委託料) 2,090千円 ・信濃町しあわせ会議の開催(委託料) 1,100千円 ○関係人口創出・拡大に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口プラットフォーム開発(委託料) 2,354千円 ・関係人口創出・拡大事業(委託料等) 1,200千円 ○多様な雇用機会創出に関する事業 <ul style="list-style-type: none"> ・移住者の採用活動業務(委託料) 700千円 		
※経費内訳はR7年度事業費			
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ①地域へのUIターン数 (+15人) ②特定地域づくり協同組合雇用者数 (+7人) ③信濃町ファンクラブ会員数 (+1,400人) ④信濃町への愛着度 (+9.53%) 		<p>関連URL</p> <p>https://www.town.shinano.lg.jp/c/hosei/shisaku/</p>
※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値			

事業概要【シン・デジタルデバイド支援による地域活力向上プロジェクト】

旧制度（推進）

申請者	長野県信濃町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	41,678千円 (13,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	①町内における雇用及びデジタル人材の活躍の場の創出 ②町内における事業者DXの推進 ③生産年齢人口の減少及び高齢者の孤独・孤立化対策 ④デジタルデバイド対策		
事業概要・ 主な経費	【フルリモート支援サービスの実装事業】 ・フルリモート支援環境の構築及び貸出 3,164千円 ・追加機能の実装 1,200千円 【デジタル人材の募集・育成事業】 ・人材募集及び育成プログラムの実施 1,250千円 ・eコマース分野を支えるデジタル人材の育成 1,000千円 【地域の小売業者に対するeコマースに特化したDX推進支援事業】 ・事業者伴走支援事業 2,998千円 ・地域の小売業者とデジタル人材のマッチング 1,408千円 【信濃町GDXセンターの運営事業】 ・信濃町GDXセンターの運営 1,180千円 【信濃町GDXセンターの環境構築事業】 ・信濃町GDXセンターのネットワーク回線整備 800千円		<p>高齢者リモート支援サービス概要（デジタルが触れない人向け）</p> <p>見守りコミュニケーション</p> <p>支援者（DXアドバイザー） (時間設定可)</p> <p>非支援者（高齢者等）</p> <p>パターン1 フルリモート 非支援者はタブレットを触る必要なし</p> <p>パターン2 応答有り 非支援者はタブレットを触って応答 (タッチ)</p> <p>緊急時 ワンタッチ で緊急発進 が可能</p> <p>※接続ログ、動画（音声＋画面）による記録あり</p>
KPI	①地域における新規雇用者数 (+8人) ②フルリモート支援サービス利用者数 (+80人) ③eコマースに関する事業者DX支援件数 (+3件)		関連URL https://www.town.shinano.lg.jp/c/hosei/shisaku/

※経費内訳はR7年度事業費

※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値